



有馬道久先生（前専攻長）が 定年退職を迎えられます

本学教職大学院の設立準備から中心としてご尽力なされましたこと、本当にお疲れ様でした。誠に有り難うございました。

教職大学院に 携われたことに感謝して

有馬 道久



準備の2年間と開設してからの4年間、定年退職前の6年間で教職大学院に携われて本当に幸せでした。教職大学院ができて、まず小・中学校や教育委員会など学外に出る機会が格段に増えました。それに伴い、実習校で院生さんが行う授業も頻繁に参観しました。その中で院生さんとともに楽しみながら苦しみながら考え続けたことは、実践研究はいかにあるべきかという課題でした。言うなれば、「理論と実践の融合」を自分たちなりに理解し実現しようとした4年間でした。院生の皆さんに求めた「学び続ける教員」像は、結局、自分自身のテーマだったと今になって気づきます。これから教職大学院の役割はますます重要になると思います。「紙飛行機」のように、これから入学される皆さん、修了生の皆さん、そして、担当される先生方の願いを乗せて力の限り飛んで行かれますようお祈りしております。長い間、本当にありがとうございました。

おめでとうございます！！ 修了生の嬉しいニュース

教職大学院で学ばれたことやフォローアップで取り組まれた実践をもとにまとめられた論文が、日本教育公務員弘済会香川支部の研究論文助成に関する賞を受賞しました。

優良賞

小学校英語から中学校英語の導入期における英語授業の改善
～「読むこと」から生徒に英語の力の伸びを実感させる授業～

坂出市立坂出中学校教諭 久保 孝彰

奨励賞

主体的な家庭学習定着のための学校からのアプローチ
～「自己調整学習」の観点から～

丸亀市立西中学校教諭 井上 聖也

令和3年度大学院入試の実施予定

2020年に実施する令和3年度入試の日程は、以下の通りです。例年より少し早い日程になりました。

A日程：令和2年8月29日（土）

B日程：令和2年11月28日（土）

C日程：令和3年1月23日（土）

教職大学院と一緒に学びませんか！

学部卒学生も、授業力開発コース、特別支援力開発コースに入学できます。

2020年4月から、学部卒学生の方も特別支援力開発コースに入ることができるようになりました。現職派遣教員の院生さんと一緒に専門性を高めながら学びませんか。

詳細については、募集要項や大学院案内のパンフレット等を参照してください。直接、問い合わせていただいてもかまいませんので、興味のある方は是非質問してください。



模擬授業の記録・分析にタブレットを活用している様子

令和元年度修了生の声 教職大学院の1年間を振り返って

学校力開発コース

池内 理恵

講義で様々な理論を学ぶことができ、新しい知識を多く得ることができました。何よりよかったことは、実践していたことを理論とつなぎ整理できたことです。学校現場から離れ、全体を俯瞰することで、今まで見えていなかったことに気付くことができました。また、校種や経験年数の違う皆さんと討議を重ねることで新たな教育の視点を見つけられました。教育に携わる者として大切にしていべきことを深く考えることができた1年間でした。学びを支えてくださった先生方や院生の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

講義を通して、社会の変化や子どもの実態の変化を見極めながら、教科の本質を追求した授業の在り方を考えました。また、教科の授業力向上を目指すだけに限らず、道徳授業やこれからの時代に求められる授業の在り方を考えました。授業力開発コースで、先生方から多くの理論を学び、同期の仲間と議論し模擬授業を繰り返したこの一年間は、今後の教員生活の基盤となります。充実した時間をありがとうございました。

授業力開発コース

中居 朋子



特別支援教育コーディネーター コース

大倉 万由子

特別支援教室「すばる」での指導実習や附属特別支援学校、医療機関、療育機関等での豊富な実習は、学校現場では経験できない貴重な機会でした。実習や授業を通して、特別支援教育に関わる幅広い知識を得ることができました。また、共に学び合う院生の皆さんと出会えたことは大きな財産となりました。大学院で学んだことを少しでも還元できるように「学び続ける教員」でありたいと思います。

令和元年度の『教職実践研究フォーラム』は残念ながら中止

教職実践研究フォーラムが実施できず、誠に残念ですが、新型コロナウイルスの国内感染が広がる状況下ではやむを得ません。院生は、最後までプレゼンテーションを微修正したり、何とかできないかと祈ったりしながら、忸怩たる思いで苦渋の決断を受け止めていたようです。楽しみにしていた皆様にも院生の発表内容をお伝えできず残念な限りです。事前申込みをしていた方には、『教職実践研究報告書』を当日お渡しする予定でしたが、それもできず申し訳ありません。なお、『教職実践研究報告書』は、大学の方でお渡しすることもできますので、近くにお寄りの際にはご連絡をいただくか、あるいは近くの学校に知り合いの院生さんや教育学部の教員がいるので渡してほしいなど、お声がけください。

知っていますか？ 1年間で大学院を修了 できることを

「短期履修学生制度」と
「フォローアップ・プログラム」
について

香川大学教職大学院では、一定の条件のもと短期履修学生制度を活用して学ぶことができます。この制度で修了された方は、修了後の「フォローアップ・プログラム」を履修する必要があります。これらは、通常2年間の大学院の教育課程を1年間で修了するにあたり、教育課程の質保証を図るために設けられたものです。教職大学院を修了した教員が、「理論と実践の融合」を定着させるために「学び続ける教員」として、プログラムを受講する修了生と在籍校、教職大学院担当教員、県教育委員会の協働により、1年間のプログラム(1年以上最大3年)を行う制度です。詳細は募集要項や大学院案内のパンフレット等を参照してください。